



し ら さ ぎ

求めて学ぶ 考えて行う 自ら鍛える

目黒区立第八中学校
学校だより NO. 21
(通巻152号)
平成29年(2017)
12月22日(金)

『いじめ防止スローガン』

校長 飯野 博史

◎『いじめ防止スローガン』

E 組 Don't いじめ! やさしい笑顔で みんな仲良く

一年A組 ALL WORLD PEACE いじめのない世界へ

一年B組 友情がいじめをさせない 第一歩

一年C組 当たり前を日常に!

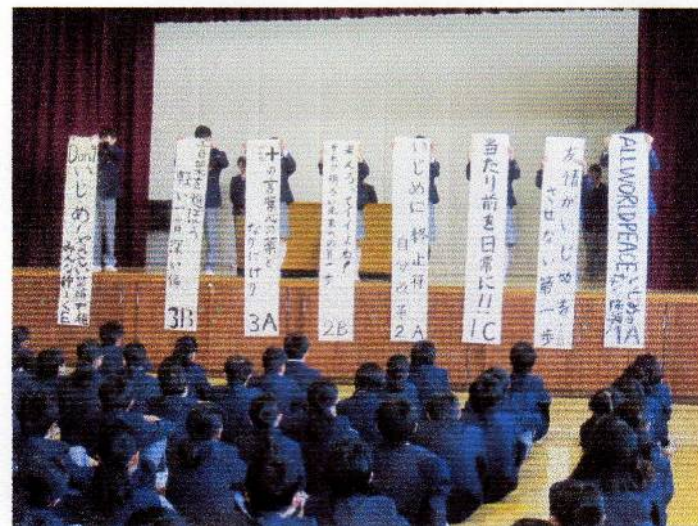
二年A組 いじめに終止符 自分改革

二年B組 考えるっていいよね! それが明るく未来への第一歩

三年A組 + (プラス) の言葉 心の薬となりにつけり

三年B組 言葉を選ぼう 軽い一言 深い傷

年明けに校長室前に掲示します



■「いじめ防止スローガン」発表

18日(月)生徒会朝礼で各学級の「いじめ防止スローガン」の発表を行いました。

八中では人権についての学習を深め、いじめのない学校、偏見や差別のない社会について考えています。

「いじめ問題を考えるめぐろ子ども会議」をスタートに、人権啓発標語、100万人の行動宣言、人権講話、人権講演会など、11月と12月を「命と人権を考える月間(ふれあい月間)」として集中的に「いじめ問題」に取り組みました。様々な取組のまとめとして、各学級で「いじめ防止スローガン」を作成し発表し合いました。どのスローガンにも各学級の「思い」が込められていると感じました。

言葉だけで終わらせるのではなく、実行できる生徒を育てていきます。

■冬休み

26日(火)から14日間の冬休みが始まります。今年一年を振り返り、新しい年への目標をしっかりと立ててください。3年生にとっては、受験に向けてラストスパートとなります。無理のない計画を立てて、家族の一員としての役割も果たしてほしいと思います。1月9日(火)に元気なみなさんに会えるのを楽しみにしています。良い年をお迎えください。

◎生徒の活躍

・目黒区人権啓発標語作品展

- 区長賞 ○○○○くん「受け入れよう 違う個性は あたりまえ」
入選 ○○○○さん「思いやる 言葉の先に 笑顔が見える」
" ○○○○さん「大丈夫？ 言える勇気 救える心」
" ○○○○さん「育もう みんなの笑顔と優しさを
繋げよう 明日へ続く未来の光」
" ○○○○くん「『思いやる』 人を助ける第一歩」
" ○○○○さん「あなたが気づこう いじめのスタート」
" ○○○○くん「言葉を選べ 軽い一言 いじめの根源」
" ○○○○さん「あいさつは 心のマホウ オモイヤリ！」

・目黒区読書感想文コンクール

- 佳作 ○○○○さん ホームレス中学生
" ○○○○くん バットマン
" ○○○○さん「西の魔女が死んだ」を読んで
" ○○○○さん「そして父になる」を読んで
" ○○○○さん「最果てアークード」を読んで
" ○○○○さん 風が強く吹いてくる

校長人権講話「横田めぐみさんの拉致事件」

4日(月)人権週間にちなんで「横田めぐみさんの拉致事件」と題して校長講話を行いました。横田めぐみさんが北朝鮮の工作員によって拉致されてから40年が経ちました。中学1年生のとき、めぐみさんは拉致されました。忽然と姿を消しためぐみさんを、めぐみさんのお父さん、お母さんは必死で探し続けました。署名活動や講演会などを行い政府に一日も早い帰国を求めています、いまだに解決の糸口がつかめません。お父さん、お母さんも高齢となりました。拉致は最大の人権侵害です。一刻も早く、拉致被害者の方々が日本に戻ってこられることを祈るばかりです。

◎生徒の感想文

- ・拉致されたときのめぐみさんは13歳、私たちとほとんど変わらない年齢でいきなり親から引き離され、他国へと一人で連れて行かれてしまうことはどんなに恐ろしいことか、心細いことか想像もつかないようなことでした。また、めぐみさんのご家族の胸の内の悲しさもあってはならないことだと思いました。被害者の方が一刻も早く日本に帰り、本来の幸せをつかめる日が来てほしいと感じました。
- ・私はニュースで何度か拉致問題について見たことがあります、かわいそうだと思うくらいでしたが、今回校長先生の話の聞いたりDVDを見たりしてとても心を打たれました。拉致とは怖くて悲しいものだと思いました。もし私がめぐみさんだったらと考えるととても怖いです。早くめぐみさんや他に拉致された人たちを日本に帰してあげるためにも、日本はどうすればいいのか、自分は何をすればいいのか考えていきたいです。
- ・今まではめぐみさんのお両親がお話をされているのを何度かテレビで見たことはありましたが、あまり詳しく知らなかったし、失礼ですが他人事ぐらいにしか思っていました。ですが、今回DVDを見て拉致事件について詳しく知ることができて他人事とは思えなくなりました。何か悪いことをしたわけでもないのに、つらくて怖い思いをしなければならなかった日本人がいることを残念に思います。めぐみさんには生きて、早く日本に帰ってきてほしいです。

※「拉致問題」について深く考えた生徒がたくさんいました。来年こそは解決してほしいと思います。